

1学年だより



西東京市立柳沢中学校

令和8年1月16日

No.27

見えないきまり

さあ、いよいよ来週はスキー移動教室です。ここまで実行委員を中心に、係活動、学級活動を主体的に進めている姿に、みなさんの着実な成長の跡を感じてうれしく思います。

今回のスキー教室でみなさんに心がけてほしいことは、**みんなが楽しく、安全に、安心して過ごせるスキー教室**にすることです。家族や友達との旅行、お出かけではありませんから、「私は…」と自分のことだけを考えるのではなく、「私たちは…」というふうに周りの人のことにも気を遣い、心を寄せることが大切です。一人一人の自覚と責任ある行動と、周りの人との助け合い、支え合いが必要な三日間です。

そこで、今回は私の知人から聞いた話です。

その方の実家の前には幅2メートルほどの川が流れています。近くの崖下を水源として、こんこんと流れ出す水は、どんな水不足の時でも一度も枯れたことはなかったそうです。福島県の山村なのですが、上水道は以前から整っています。わずか300メートル足らずの短い川ですが、現在でも住む人にとっては生活用水や農業用水として欠かせないものになっているそうです。

この川には人々が使いやすいように、人工の切込みが作られていて、四角い石を組み合わせで作った水場、洗い場があります。水源、水源の近く、100メートル下流、200メートル下流の四か所で、飲料水に使用したり、食器を洗ったり、洗濯に利用したりしています。もっとも最近では洗濯機は当然のこと、食器洗い機などを設置している家庭も多く、この川で食器を洗ったり、洗濯をしたりという姿はあまり見かけなくなりました。ただ名水ブームなどの影響で、上流の飲料水をくみに来る人が以前よりも増えていますが、地域の方が神棚や仏壇にお供えする水や、お祭りでする道具を清めたりする水もこの川の水でなくてはいけないのだそうです。

ところで、この川の水場には、どう使うのか注意書きのようなものはありません。人々の間には暗黙の了解（＝何も言わず黙っていてもお互いに認めること）、約束ができています。いつその約束ができたのかはわかりませんが、水源は飲み水用、水源の近くは食べ物を洗ったり、お米を研いだり、食器を洗ったりすることにしか使いません。さらに100メートルほど下流の川の真ん中の部分は主に洗濯場として使います。そして一番下流の洗い場ではおむつや汚れのひどいものを洗います。これらを地域の人すべてがきちんと守って、これまでずっと快適な生活を維持し続けてきたのでした。

このルールはもちろん幼い子供にも観光客にも適用されます。私の知人は、飲み水用の上流で水の中に足を入れて遊んでいて、近所のおばさんからこっぴどくしかられた思い出があるそうです。

さて、学校では「〇〇しよう」とか「△△はやめよう」というきまりや呼びかけがよくありますが、実は私はこれがあまり好きではありません。なぜならそれらの内容はどれも本来ならば当たり前のことのように思えることばかりだからです。〇〇がきちんとできていたり、△△をする人がいたりしなければまったく必要のないものだからです。

きまりや呼びかけがまだあるということは、そのことがまだ十分に守られていないということです。学校やクラス、場合によっては家庭という小さな社会の中では、堅苦しく書かれたきまりという形ではなく、お互いが相手を気遣い、どうしたらお互いが気持ちよく生活できるかを考え、行動し、みんなが快適に生活できることが理想です。

さあ、いよいよ来週からスキー移動教室、入学してから初めての宿泊行事です。バスの中、宿舎の中、部屋の中、スキー実習班などさまざまな場面で、参加した全員が楽しく快適に過ごせるようお互いに心がけましょう。

これまでの校外学習や普段の学校生活の反省もふまえて、さらにステップアップを目指して価値ある二泊三日にしましょう。

みなさん一人一人の力が必要です！

□来週の予定

月/ 日(曜)	行事予定	備考
1/19(月)	生徒会朝礼	
1/20(火)	スキー教室	
1/21(水)	スキー教室	
1/22(木)	スキー教室	
1/23(金)	1年時差登校 漢字検定	9時45分～9時55分登校 ②学活、③～⑥授業